

平成24年度第2回契約監視委員会が、平成24年12月17日(月)、労働者健康福祉機構18階会議室において開催されましたので、その議事概要についてお知らせいたします。

平成24年度 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 第2回契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成24年12月17日(月) 15:55～ 16:35 独立行政法人 労働者健康福祉機構18階会議室	
委員	委員 竹内啓博(公認会計士) 委員 田極春美(三菱UFリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員) 委員 小宮山訓章(JILPT監事)(議事進行) 委員 中川幸雄(JILPT監事(非常勤))	
審議対象期間	1. 平成24年9月14日～平成24年12月12日に契約締結された案件 2. 平成24年12月～平成25年3月に契約締結予定の案件	
1. 競争性のない随意契約 (平成24年9月14日～平成24年12月12日契約締結)	3	件
2. 一者応札・一者応募 (平成24年9月14日～平成24年12月12日契約締結)	0	件
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	下記のとおり	下記のとおり

意見・質問	回答
機構側から、審議案件について契約概要を説明し、全体をご審議いただいた。	
1. 競争性のない随意契約、一者応札・一者応募(平成24年9月14日～平成24年12月12日契約締結)	
【案件 1】	
随意契約について	
予定価格は、どのように設定しているのか。	委託業者から提出された見積書に基づき予定価格を設定。その後、減額交渉・協議を行い、契約額を確定した。
【案件 2】	
上石神井事務所中央監視装置の更新	
装置の用途は何か。またどの程度の頻度で更新しているのか。	庁舎の空調、電気、防災設備等をネットワークを活用して監視するシステム・装置である。平成15年に抜本的な改修を実施後、耐用年数を迎えた部品等について、必要に応じて修理・交換等を行っている。今回は比較的規模の大きなソフトウェアのバージョンアップ及びそれに伴う機器の更新である。
装置・システムの性格上、改修等の度に競争入札等によりシステム全体を取り替えるより、法人から説明のあった方法がコスト面においても合理性があり妥当であると考えられる。	
2. 契約事前点検(平成24年度12月～平成25年3月)	
【案件 1】	
調査研究成果の英訳版作成に係る翻訳作業の委託	
委託業者を総合評価で選定するとしているが、具体的にどのような方法・手続きで行うのか。	入札価格(価格点)に加え、論文の一部を英訳した企画書の評価(技術点)を合わせて、委託業者を決定する。
3. 委員最終意見	
競争性のない随意契約の一般競争入札への移行、一般競争入札における一者応札回避のための仕様書の見直し等について、継続的な努力がなされている。引き続き努力して頂きたい。	